

市民公園づくり会議 公募参加者選定会議 議事録

1 日 時

令和3年11月19日（金）午後2時00分～午後3時00分

2 場 所

社会教育センター401 研修室

3 出席した委員 14名

委員長：瀬口哲夫

委 員：岡田行永、杉浦世志朗、武田正雄、永田憲正、大野裕史、近藤莊太、名倉充男

岸本浩子、高井智幸、稲吉豊治(代理：志賀雅樹)、前野宏光、石原 章、宮田孝裕

4 欠席した委員 0名

委員：なし

5 事務局

清水公園整備推進監兼課長、小川課長補佐、林工務係長、堀場主任主査、新美主事

加藤スポーツ振興監兼課長、内田課長補佐、増田業務係長、松原主事

6 公開・非公開の別

非公開

7 議題

- (1) 意見交換
- (2) 評点集計結果報告
- (3) 意見交換
- (4) 公募参加者決定

《議題（１）について》

説明（資料１：市民公園づくり会議公募参加者の選定について）

（資料２：募集要項）

（資料３：応募者一覧）

（資料４：選定基準表）

（資料５：評価点）

【委員】

説明してもらった中で、記載の無かったという方がいて、そういった方の評価をどうするかというのを、今考えるべきことだと思いますが、例えば、４番の方につきましては、公園の思い入れをずっと書いて頂いているのですが、その下のまちづくり等の経験というのが、年齢も若いこともあり、あまり参加されてなく、記載が無い。こういった方は、熱意はあるけれども、そういった経験がないという場合の評価は、熱意をくみ取って見ていくという事でよろしいでしょうか。

【事務局】

ご意見ありがとうございます。皆さんも迷われた点かと思われます。まちづくり等の活動・経験がない方は、１点ということになりますが、評定表をご覧頂くと、項目の２になりますが、０.５点となっていて、評点は低くなっています。また、熱意をくみ取って選んでいけばいいのかというご意見だったのですが、まさにその通りです。評価項目では、先ほども説明させて頂いたのですが、判断していく上で、こういった視点でお願いしますと示しております。考え方としては、この方がワークショップに参加して頂いてもいいじゃないかということを経点として、特に熱意のあたりが点数２倍になっているので、評価頂ければいいと思います。

【委員】

みよし市の方が応募者にいるが、刈谷市には深く関わっている方ですか。諸事情が消されているのでよくわからないが。市外でも関係ないのですか。

【事務局】

資料２の方を対象としているのは、市内在住・在勤の方を対象としていると記載がありますので、９番の方も対象としています。

【委員】

事務局としては、応募の数が、想定よりか少なかったのか感想を教えてください。

【事務局】

もう少し応募して頂けるとよかったですと思います。当初はグループ１名ずつぐらい入って頂けると一番良いと思っていたのですが、このあと集計をさせて頂いて、今１１人応募がありますので、少なくとも各公園１人ずつは、公募委員に入って頂けると良いと思っています。

【委員】

フローラルガーデンよさみの応募が多い。そこに事務所があって活動をしている所は、わりと関わりやすいから、どうしてもそこに関わる人が多くなる。選ぶ基準においては、これしかないのか。これで選ぶのはどうかとも思う。その中で選んでいかななくてはいけない。

【事務局】

特に今回はフローラルガーデンよさみの応募が多かったのですが、読んでいると、昔の送信所というものに地元として深い思い入れがある方が、応募されているようです。選定委員の皆様いろんな意見を聞きながら、この中から、公募委員を選定していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

【委員】

私もフローラルガーデンよさみが多いなと思いました。それだけフローラルガーデンが愛されていることがわかったのですが、やたら思いの強い人たちが何人かおみえになり、フローラルガーデンのことしか書いていないというか、全体的にどうなのかなと思う。なんとなく不安と思う方が1、2名いらっしやったので、そういう方をフローラルガーデンよさみに配置するのか、違うところで發揮して頂くのかを含めて、大抵の方は問題ないのですが、この人をどこにやってもらうのだろうと考えながら採点した方が良いですかね。

【事務局】

先ほどのご説明をさせていただいたのですが、各公園に最低1名ずつは配置したいと考えております。また、本人の希望になるべく沿った形で入って頂くほうが、しっかりと意見を出して頂けると思ひます。確かにご指摘のように怖い部分もありますが、できる限り多くの方にご参加頂いて、多くの方の意見をお伺ひすることが、いい構想作りに繋がると思ひています。

【委員】

基本的には、第一希望になるべく沿うということですね。了解です。

【委員】

ワークショップのグループが12組ある中で、MAX 11名ということは、二つ掛け持ちということもあるのか。

【事務局】

基本的には、掛け持ちは考えておりません。

【委員】

グループに公募委員が0になってしまう所もあるのか。

【事務局】

希望も併せて書いて頂いておりますので、希望を見ながら配置していこうかと思ひております。

【委員】

公募委員が MAX 11 人なのに、ワークショップのグループは 12 組あるのではなかったか。

【事務局】

グループそのものは 12 組あるのですが、1つの公園で3つのグループや、1つの公園で2つのグループもございます。どちらかのグループには配置をさせて頂いて、1つの公園には少なくとも公募委員の方が1名は入って頂けるような配置をしていきたいと思っております。

【委員】

私も点数をつけましたが、よくわからないのがありまして、これで点数をつけて、「あなたはよろしくお願ひします。」「あなたは駄目です。」というのは、どうも私としては納得がいかない。ここで話をしていたのですが、ここに応募をして頂いた 11 名の方は、内容は別にして、前向きにやる気があるだろうと思う。まずは、そのやる気を評価して、まずは 11 名のエントリーを採用したらどうですか。という乱暴な意見ですけど、そういう考えも僕は持っています。

【委員】

今の意見で、全員採用してしまうと、どうしようもなく、会議をバラバラにされてしまう。失礼な言い方ですけど、何もなしにエントリーをすると、会議の進行をやられる方が大変じゃないかという危惧もあります。応募数が少ないので、全員はめてしまう考えもありますが、想定ではあります。めっちゃくちゃな意見を言われることも考えられる。仮に、おみえになったら全部入れてしまうという事ですよね。ちょっとそれは大変かと思ひます。やはり、今回、まとめていくという趣旨に沿っていくには、思ひのある人を選ぶ。我々が選ぶ事が本当に良いかどうかはわかりませんが。

【委員】

多様性という面で言えば、例えば、点数の高い人というとなにか似たような考え方の人がよってこないかなど。そうすると年齢層もそうですし、いろんな多様性の中で、意見を言ってそれを集約していく、それがワークショップだろうと思ひますけど、そんな中で、似たような考え方・方向性の人が集まっても、仕方が無いような気がするんですけど。

【委員】

先ほど、委員がおっしゃったように、かき回す人が居るのではないですかとの意見があったのですが、これを見ただけではよくわからないので、司会者が一生懸命やるしかないのですが。先ほど出てきた思ひの強すぎる人、この公園はこうあるべきだという人は、そこから逸脱できてこないの、全体的に緩やかにこういう形にしましょうねというところで、先ほど怖いねとの話もありましたが、私もそういう気がします。多分、この番号順というのは、出てきた順番だと思ひます。そういう思ひの順番だと思ひますので、何も書いていない人は、とにかく締め切り間際でこれだけ持ってきたという部分があるのではないかと思ひますので、あまりにも思ひの強すぎる人というのは、気が引けるようにも思ひます。

【事務局】

全員の方を入れてはどうかのご意見ですが、会議、ワークショップをやっていくにあたって、公園のことを考えて、ご意見を言って頂ける方という、例えば、白紙で出されている方とかは、こういう意見を下さいと行って、意見を頂けなかったというところがあります。公園作りについて、ご意見を頂きたいとお願いをして、自分の経験しか書かなかったとか、そういった所で、少し心配なところはあります。ただ、ご意見のように、多様に聞くべきではないかということも考えられます。思いの強い人を外すという選択肢もあるかと思えます。これをまさに今日、皆様方に、いろいろご意見を頂きながら、決めていくことかと思えます。事務局としても、同じような意見の方々に参加して頂いてというつもりはございません。熱意を基準に選考していきたいと思っています。どういった考えの方を入れる、どういった考えの方を入れないというような選考しているつもりはございませんので、よろしくお願いします。

【委員】

11名の方が応募されたときに、その方たちには、どのように決まるのか説明はしているのですか。例えば、心配するのが、11名決まって、先ほどからお話がある、よさみに強い思い入れがあるということで、ほかの公園の所へ、全然興味の無い方が、入ってしまっ、そこで一位になったとしても、私はここ興味ないので、勘弁してくださいと話が出たときなど、経緯などはどのように応募者の方には、通達されておられるのですか。

【事務局】

資料2をご覧ください。こちらが応募用紙でございます。この中で、お伝えしている所は、「選考を行い、結果は11月下旬に連絡をします」ということで、裏側の応募用紙をご覧ください。応募用紙の中で、下の欄に「参加者の選考資料とします」ということで項目を書いて頂いています。希望していない公園を、担当するのはどうかというご意見ございました。それを応募の中で、情報として知るために、その上の欄で、希望順位を記入してくださいと記載をしていますが、その下に、希望しない公園には記入不要です。ということでお示しをしております。資料3のところ、空欄がある部分がありまして、空欄の部分には、公園を考える上で、納得した形でご意見を言って頂きたいと思っておりますので、なるべく希望通りにしていけると良いと考えております。

【事務局】

それでは、今の意見交換を踏まえまして、適宜、評点表を修正して頂きまして、評点表の記入がお済みの方から、事務局に提出して頂きます。提出して頂いた方から、休憩に入って頂くと思います。集計に概ね20分くらいお時間を頂きます。また、ご連絡をさせて頂きますのでよろしくお願いします。

— 評点表修正後 各委員提出。事務局にて集計 —

《議題（２）について》

説明（別紙：集計結果）

【事務局】

集計の結果、No.5 と No.8 の方、記載の無かった方とまちづくりの経験だけの記載の方が不採用となりました。公募委員 11 人中 9 人の方を採用させていただきたいと思います。担当して頂く公園についてですが、公募参加者の希望順位を考慮して、記載をしています。基本的に希望順位 1 番、2 番というのを中心に公園の方を担当して頂こうと思います。順番に報告させていただきますが、洲原公園を No.9 の方、岩ヶ池公園を No.11 の方、運動公園を No.6 の方、亀城公園を No.1 の方、No.4 の方、No.10 の方、フローラルガーデンよさみを No.2 の方、No.3 の方、No.7 の方。これを事務局案とさせていただきます。これで、全員が第 2 希望を担当することができます。5 つの公園すべてに公募の参加者を配置することができます。洲原公園 1 名、岩ヶ池公園 1 名、運動公園 1 名、亀城 3 名、フローラルガーデンよさみ 3 名となります。この会議後に、参加者本人に結果を通知いたしまして、同意が得られれば決定したいと考えています。ご意見いただけますでしょうか。

《議題（３）について》

【委員長】

同意が得られなければどうするか。

【事務局】

本人に確認をし、同意が得られず、変更となる場合は、事務局の提案のもと、委員長の瀬口委員長の一任で決めさせていただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

【委員】

異議なし。

《議題（４）について》

【事務局】

本会議の内容をこの後の、策定委員会で報告させていただきます。以上も持ちまして市民公園づくり会議 公募参加者選定会議を閉会いたします。みなさんどうもありがとうございました。

以 上